

平成29年度
工学部第3年次編入学
学生募集要項

平成28年3月



日 程 概 要

区 分 項 目	推 薦 入 試		一 般 入 試
	学校推薦	自己推薦	
出 願 期 間	平成28年 5 月 2 日(月)～ 5 月 9 日(月)		平成28年 6 月 24 日(金)～ 6 月 29 日(水)
選 考 日	平成28年 5 月 14 日(土)		平成28年 7 月 9 日(土)
合 格 者 発 表	平成28年 5 月 27 日(金)		平成28年 7 月 22 日(金)
意思確認書提出期限	—		平成28年 8 月 3 日(水)

目 次

I	工学部アドミッション・ポリシー	1
II	募集人員	4
III	入学時期及び修学条件	4
IV	出願資格	5
V	出願期間	6
VI	出願手続	7
VII	選抜方法等	9
VIII	合格者発表	10
IX	入学手続等	11
X	障害のある入学志願者等の事前相談	11
XI	個人情報の利用	11
XII	入学志願者のための案内	12
XIII	学生募集要項等の請求方法	17

本学所定用紙（綴じ込み）

- | | | |
|-------------------------------------|---|---|
| <input type="checkbox"/> 編入学願書 | <input type="checkbox"/> 受験票・写真票 | <input type="checkbox"/> 推薦書（学校推薦用） |
| <input type="checkbox"/> 推薦書（自己推薦用） | <input type="checkbox"/> 振込依頼書等（検定料振込用） | <input type="checkbox"/> 返信用封筒（受験票等送付用） |
| <input type="checkbox"/> 出願用封筒 | <input type="checkbox"/> あて名票・入学願書受付票 | |

<注意>

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・この学生募集要項以外に重要な通知がある場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。 [福井大学ホームページ <http://www.u-fukui.ac.jp/>]
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9：00～17：00に、この学生募集要項を手元に置き、必ず志願者本人が行ってください。

I 工学部アドミッション・ポリシー

ー工学部における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的ー

工学は、人間社会の持続的発展を可能にするための学問体系である。工学部では、基礎的な知識・教養と高度な専門能力に加えて、創造力、評価力、自己学習力およびコミュニケーション能力を併せた総合能力を持つ技術者・研究者を養成する。また、地域社会と国際社会の豊かな発展に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元する。

工学部各学科の目的は、以下のとおりとする。

機 械 工 学 科	機械工学分野の専門教育と先進的研究を通して、人が環境と調和した快適な社会生活を過ごすためのモノづくりに寄与する、基礎学力と応用力を有し、未知の問題に対応する能力を備え、倫理観を持って国際社会において活躍できる機械技術者を養成する。
電 気 ・ 電 子 工 学 科	電子物性とデバイス工学，エネルギー工学，システム工学の分野において，高度な専門知識を有し，科学技術の発展と変遷に対応できる能力と倫理観を備えた専門技術者を養成すると共に，豊かな暮らしを支える社会基盤の構築に寄与する知識と技術を創出する研究を行う。
情 報 ・ メ デ ィ ア 工 学 科	情報，通信，メディア工学に関する専門知識の体系的な理解を基に，実世界の多様な問題を理解し，多角的なアプローチで問題解決に取り組むと共に，種々の製品やシステムの開発を推進し，また開発成果を的確かつ効果的に発信する能力を持つ専門技術者を養成する。
建 築 建 設 工 学 科	建築学と土木工学の両専門分野の蓄積を基礎におき，両者を融合・総合化させることによって，新しい視野で社会環境，自然環境の中での生活空間の本質を理解し，国土・地域の持続的発展に貢献しうる総合的な生活空間構築のための教育を行い，次に掲げる技術者を養成する。すなわち，自然，歴史，文化等あらゆる面から生活空間の本質を見極め，そこに潜む問題とあるべき方向を探り出そうとする指向性と探究心，その上で問題の解決と望ましい生活空間の創造や自然環境の保全に関わる幅広い専門知識，加えて実社会の中で実践力等を備えた人材を養成する。
材 料 開 発 工 学 科	化学と物理を基礎とし環境に調和した高性能・高機能材料の創製に取り組むことを通して，創造性豊かな人材育成を目指すと共に，地域社会や国際社会で活躍できる高い倫理観とチャレンジ精神を備えた専門技術者および研究者を育成する。
生 物 応 用 化 学 科	物質科学の基礎となる「化学」と生命科学の基盤である「生物化学」は互いに深く関わっている。これら「化学」と「生物化学」の境界に広がる学際的領域における学術と研究の拠点として，人類の健やかな生活と持続可能で豊かな社会の実現に貢献するための教育を推進し，高い倫理観と知識・技術を身に付けた研究者および専門技術者を養成する。
物 理 工 学 科	物理学・数学・工学に関する広範な知識を有し，職業人に求められる自己学習能力・問題解決能力・表現能力を身につけ，それらを総合して創造性のある研究・開発を行うことのできる専門技術者を養成する。また，他学科の専門基礎科目の担当を通して，工学部全体の人材養成に寄与する。
知 能 シ ス テ ム 工 学 科	機械・電子・情報などのハードな工学から生命科学・認知科学・複雑系科学などのソフトな科学まで至る学際的科学技術に精通し，総合的なシステム提案・構築能力と創造性豊かな優れた研究・開発能力並びに実務能力を身に着けた技術者，および，あらゆる分野で活躍することができ，知識基盤社会を多様に支える知的な素養ある人物を養成する。

—求める学生像—

学部共通

1. 基礎学力があり，チャレンジ精神にあふれる人
2. 科学技術を通して国際社会で活躍したい人

各学科

機 械 工 学 科	<p>「未来のものづくりをリードするのは君だ」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ものの形や動く仕組みに強い興味を持つ人 2. 広い視野と柔軟で豊かな思考力を持つ人 3. 自分の考えを相手に正しく伝えられる人
電 気 ・ 電 子 工 学 科	<p>「光り輝くエレクトロニクス社会の挑戦者になってみないか」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 物理や数学が大好きな人 2. 電気や電子に興味と好奇心を持っている人 3. エレクトロニクス分野でチャレンジ精神を持って将来活躍したい人
情 報 ・ メ デ ィ ア 工 学 科	<p>「これからの高度ICT社会を担うのは君だ」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ICTで社会に貢献したい人 2. コンピュータのハードウェア／ソフトウェアに興味のある人 3. 情報通信，マルチメディア情報処理に興味のある人
建 築 建 設 工 学 科	<p>「いえをつくる。まちをつくる。くをつくる。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建築あるいは建設分野に強い興味を持ち，意欲旺盛な人 2. 独創的な発想が期待できる人 3. 自分で目標設定ができ，それに向かって努力する人
材 料 開 発 工 学 科	<p>「未来材料の開発にチャレンジしよう！」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自主性に富み，何事にも積極的で，リーダーシップのある人 2. 日常の物事や現象に常に疑問をもち，それについて深く考える人 3. 化学や物理が好きで，環境にやさしい材料の開発に強い興味と意欲を持つ人
生 物 応 用 化 学 科	<p>「化学と生体機能の接点をめざして」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 物質や生体機能を分子のレベルで考える化学の分野に興味を持つ人 2. 化学やバイオテクノロジーの技術を通して社会に貢献したい人 3. はっきりとした目的意識をもち，その実現のために努力する人
物 理 工 学 科	<p>「先端科学技術を支える物理学の世界へ」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 物理や数学が得意で，将来，先端科学技術分野で活躍したい人 2. ものごとを基本に戻って考えることが好きな人 3. 手を動かしてものを作ったり実験をするのが好きな人
知 能 シ ス テ ム 工 学 科	<p>「人の知能と行動生成メカニズムを究明し知能システムを創造しよう」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 数学や物理などの基礎的能力があり，数学Ⅲを基礎とした大学での高度な数学（線形代数，微分・積分，解析学等）を勉学する意欲のある人 2. プログラミング，機械工作，電子工作などが好きな人 3. 問題解決にあたって，個性的，独創的な主張を行い，指導性のある人

－工学部編入学者選抜の基本方針－

【編入学（推薦）】

全 学 科 共 通	面接（口述試験を含む）及び出願書類により理数系科目の学力，学習意欲，チャレンジ精神等を判定する。
-----------	--

【編入学（一般）】

機 械 工 学 科 電 気 ・ 電 子 工 学 科 建 築 建 設 工 学 科 知 能 シ ス テ ム 工 学 科	学力検査，面接（口述試験を含む）及び出願書類により，理数系科目の学力，学習意欲，チャレンジ精神等を判定する。
情 報 ・ メ デ ィ ア 工 学 科	学力検査，面接（必要に応じて口頭試問を行う。）及び出願書類により，理数系科目の学力，学習意欲，チャレンジ精神等を判定する。
材 料 開 発 工 学 科 生 物 応 用 化 学 科 物 理 工 学 科	面接（口述試験を含む）及び出願書類により，理数系科目の学力，学習意欲，チャレンジ精神等を判定する。

Ⅱ 募集人員

学 科	区 分	推 薦 入 試		一 般 入 試
		学校推薦	自己推薦	
機 械 工 学 科		5名	若干名	4名
電 気 ・ 電 子 工 学 科		5名	若干名	4名
情 報 ・ メ デ ィ ア 工 学 科		5名	若干名	5名
建 築 建 設 工 学 科		3名	若干名	7名
材 料 開 発 工 学 科		若干名	若干名	若干名
生 物 応 用 化 学 科		若干名	若干名	若干名
物 理 工 学 科		若干名	若干名	若干名
知 能 シ ス テ ム 工 学 科		若干名	若干名	2名

Ⅲ 入学時期及び修学条件

(1)編入学時期及び編入学年：平成29年4月に、第3年次へ編入学となります。

(2)単位認定及び卒業要件：

単位認定は、出身学校等での修得内容（シラバスで内容を精査する。）に基づき授業科目別に行い、共通教育科目（32単位を限度）と専門教育科目を合わせて82単位を上限とします。

また、編入学した者は、所定のカリキュラムに従って卒業に必要な単位を修得（学科により修得すべき授業科目が異なります。）することになりますが、認定された単位数によっては、2年間で卒業できないこともあります。

なお、卒業要件単位数は、各学科とも130単位以上（専門教育科目92単位以上、共通教育科目38単位）です。

本学のカリキュラムは、大学案内やホームページで確認することができますので、参考としてください。

福井大学ホームページ <http://www.u-fukui.ac.jp/>

「大学案内」 http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/outline/public.html#01

「工学部大学案内（第3年次編入学生用）」

http://www.u-fukui.ac.jp/~nyushi/admission_sect/pdf/3-hennyu.pdf

「シラバス検索システム」 <https://syllabus1.sao.u-fukui.ac.jp>

Ⅳ 出願資格

推薦入試

推薦共通

- ・志望学科は、出身学校において専攻している学科と同系列^(注①)であること。
- ・他大学へ重複して推薦されておらず、合格した場合には入学を確約できる者

1. 学校推薦

- (1)高等専門学校又は短期大学（建築建設工学科のみ対象）を平成29年3月卒業見込みの者
- (2)人物・学力がともに優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者

2. 自己推薦

次の各号のいずれかに該当することにより、自分自身を強くアピールすることができ、これまでに習得した科学の知識と技術を更に深めたい修学意欲があり、かつ、高等専門学校を平成29年3月卒業見込みの者

- (1)理数系科目又は志望する学科に関連する専門教育科目の学力に優れた者
- (2)“ものづくり”に関連した自作活動や各種コンテスト等において、各種団体、第三者機関、学校等で表彰を受けた者、又はこれらの活動チームの統率や、技術スタッフとして運営に積極的に携わった者^(注②)
- (3)修学生活における様々な諸活動において、集団の統率や、スタッフとして運営に積極的に携わった者^(注③)
- (4)本学工学部及び大学院研究科における教育研究に強い関心と意欲がある者

注①：同系列と判断し難い学科の場合は、出願前に資料を同封のうえ、文書で問い合わせてください。
知能システム工学科へは、情報系、機械系、電気・電子系の学科から出願が可能です。
物理工学科への出願は、系列を問いません。

- ②：“ものづくり”に関連した自作活動や各種コンテスト等
- ・自作活動：機械・電気等を用いた工作物，設計・製図，デザイン，コンピュータプログラム・Web ページ等デジタルコンテンツ など
 - ・各種コンテスト：ロボコン，プロコン，デザコン，プレコン など
 - ・各種資格・検定等：情報処理技術者試験，デジタル技術検定 など
 - ・その他，“ものづくり”に関連する各種団体や学校等における取組，諸活動等
- ③：修学生活における様々な諸活動
- ・高等専門学校等における寮生会，学校祭実行委員会 など

一般入試

次の各号のいずれかに該当する者。

- (1)高等専門学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者
- (2)大学を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者
- (3)大学に2年以上（休学期間は除く）在学し（平成29年3月をもって2年間在学となる者を含む。）、62単位以上^(注1)を修得した者又は平成29年3月までに修得見込みの者
なお、所定の単位を修得見込みの者が、平成29年3月までに修得できなかった場合には、合格を取り消します。
- (4)短期大学を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者

- (5)専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準^(注2)を満たすものを修了した者又は平成29年3月修了見込みの者〔学校教育法第90条^(注3)に規定する者に限る。〕
- (6)外国において、学校教育における14年以上の課程を修了した者又は平成29年3月までに修了見込みの者^(注4)

- 注1. 「62単位以上」とは、出願資格としての必要単位です。入学前に修得した単位については、本学部の定める基準により個々に認定します。
2. 「文部科学大臣の定める基準」とは、「修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1700時間以上」です。
3. 「学校教育法第90条」大学に入学することのできる者は、高等学校を卒業した者若しくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は監督庁の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者としてします。
4. 出願資格（6）によって出願する者は出願資格等を確認するので、出願期間開始10日前までに本学入試課に資料を同封のうえ、文書で問い合わせてください。

V 出願期間

推薦入試（1. 学校推薦 及び 2. 自己推薦）

平成28年5月2日(月)～5月9日(月) 17時必着

出願書類等は、本学所定の封筒に同封のうえ、本学入試課へ書留速達で郵送するものとし、5月9日(月)17時までに必着とします。ただし、期限後に到着した出願書類のうち、5月7日(土)までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。持参による出願は認めません。

一般入試

平成28年6月24日(金)～6月29日(水) 17時必着

出願書類等は、本学所定の封筒に同封のうえ、本学入試課へ書留速達で郵送するものとし、6月29日(水)17時までに必着とします。ただし、期限後に到着した出願書類のうち、6月27日(月)までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。持参による出願は認めません。

Ⅵ 出願手続

1. 出願書類等

書 類 等	推 薦		一 般	摘 要
	学 校 推 薦	自 己 推 薦		
編 入 学 願 書		○		本学所定の用紙 裏面の記入要領を参照し、必ず自書してください。
検定料振込受付証明書 (振込時の注意事項 は、表下の「2.出 願に当たっての留意 事項(1)」を参照)		○		30,000円 を、本学所定の振込依頼書により、最寄りの金融 機関の窓口で納入し、納入時に発行される「検定料振込受 付証明書」に「振込受付印」が押印されていることを確認 したうえ、 編入学願書の所定の欄に貼付 してください。 なお、検定料は、以下の期間内の金融機関窓口受付時刻ま でに払い込んでください。 推薦入試：平成28年4月18日(月)から5月9日(月) 一般入試：平成28年6月10日(金)から6月29日(水) ※出願時に国費外国人留学生であっても、検定料は一旦納 入してください。試験に合格し本学に入学期後も引き続き 国費外国人留学生となる場合には、検定料を返還します。
受 験 票 ・ 写 真 票		○		縦4 cm×横3 cmの写真(正面向き、無帽、上半身、無背景 で出願前3か月以内に撮影したもの)を各1枚貼付してく ださい。
推 薦 書 (学 校 推 薦)	○			学校推薦 本学所定の用紙により、出身学校長が作成し厳 封したもの
推 薦 書 (自 己 推 薦)		○		自己推薦 本学所定の用紙により、自己PR、自己評価を 記述してください。
成 績 証 明 書		○		出身学校長が作成し厳封したもの。 履修中の科目も記載し、その評価欄には履修中である旨を 明記すること。
卒 業 (見 込) 証 明 書		○		出身学校長が作成したもの。 一般入試 出願資格(3)の者は、出身学校所定の在学証明書 を提出してください。
返 信 用 封 筒 (受 験 票 等 送 付 用)		○		本学所定の封筒に、住所・氏名・郵便番号を明記し、362 円分の切手を貼ってください。
あ て 名 票 (合 格 通 知 等 用)		○		本学所定の用紙 合格通知及び入学手続書類の送付に使用するので、出願後 受信場所が変更となった場合は、速やかに連絡してくださ い。

<p>その他資格等を証明する書類</p>	○	○	<p>自己推薦 出願資格に関して、これを証明できる書類等があれば、そのコピーを提出してください。</p> <p>一般入試出願資格(5)の者 在籍している専修学校の専門課程が出願資格（5）の基準を満たしていることの証明書（教育内容等が記載されているもの（履修案内等）も添付してください。） 例・修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1700時間以上の専門課程を修了したことを証明するもの ・平成6年6月21日文部省告示第84号の規定により専門士の称号の付与が認められた課程であることを証明するもの</p> <p>一般入試出願資格(6)の者 外国語により作成された書類には、必ず日本語の訳文を添付してください。</p>
<p>該当者</p>	<p>住民票の写し（※）等</p>	○	<p>本邦在留の外国人は、市区町村長発行の住民票の写し（本人に係るすべての事項を証明したもの）を提出してください。海外住居者は、住民票の写しの代わりにパスポートのコピー（姓名、国籍及び在留資格が記載されたページ）を提出してください。</p>

※「住民票の写し」とは、市区町村長で発行した住民票のことですので、原本をそのまま提出ください。

2. 出願に当たっての留意事項

- (1) 検定料は、出願期間最終日の金融機関窓口終了時刻までに振り込んでください（ATM、インターネット、コンビニエンスストアは使用しないでください。ただし、郵便局・ゆうちょ銀行の場合は窓口にて口座からの振込みのみ可能）。出願は郵送に限り、出願期間最終日17時までに必着であることに特に注意して早めに振り込んでください。
- (2) 出願書類は黒のインクまたはボールペン書き（消せるボールペンは使用不可）とし、かい書で正確に記入してください。
- (3) 受理した出願書類等の返還並びに記載事項の変更は認めません。
- (4) 出願期間終了後に、受験票を送付します。
- (5) 納入済の検定料は、次の場合を除き、どのような理由があっても返還しません。
 - ① 検定料を振り込んだが、本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - ② 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
 - ③ 出願時において国費外国人留学生（文部科学省奨学金を支給されている留学生）で、本学入学後も引き続き国費外国人留学生である場合
 なお、返還方法については本学入試課に問い合わせてください。
- (6) 出願書類等の記載事項が事実と相違していることが判明した場合には、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

VII 選抜方法等

推薦入試（1. 学校推薦 及び 2. 自己推薦）

面接（口述試験を含む。）及び書類審査の結果を総合して行います。

学科	期日	平成28年5月14日(土)
全 学 科		9:00～ 面接（口述試験を含む。）

一般入試

学力検査、面接（口述試験又は口頭試問を含む。）及び書類審査の結果を総合して行います。

日程等	平成28年7月9日(土)		
学 科	学力検査科目等		
機 械 工 学 科	9:00～10:30 数学	11:00～12:30 英語	13:30～ 面接（口述試験を含む。）
電 気 ・ 電 子 工 学 科	9:00～12:00 数学, 物理		13:00～14:30 英語 15:30～ 面接(口述試験を含む。)
情 報 ・ メ デ ィ ア 工 学 科	9:00～11:00 数学, 専門	12:00～ 面接（必要に応じて口頭試問を行う。）	
建 築 建 設 工 学 科	9:00～10:30 数学	11:00～12:30 英語	13:30～ 面接（口述試験を含む。）
知 能 シ ス テ ム 工 学 科	9:00～10:30 数学	11:00～ 面接（口述試験を含む。）	
材 料 開 発 工 学 科	9:00～ 面接（口述試験を含む。）		
生 物 応 用 化 学 科			
物 理 工 学 科			

学 科	学力検査科目等の内容	
機 械 工 学 科	数学	微分積分, 線形代数, 微分方程式
電 気 ・ 電 子 工 学 科	数学, 物理	数学: 線形代数, 微分積分, ベクトル解析, 微分方程式, 確率統計 物理: 力学, 電磁気学, 電気回路, 電子回路 以上の内容より4題を出題。
情 報 ・ メ デ ィ ア 工 学 科	数学, 専門	【必須科目】 基礎数学（微分積分, 線形代数） 【選択科目】3題中1題を選択解答。 論理回路, データ構造とアルゴリズム, 応用数学
建 築 建 設 工 学 科	数学	微分積分, 線形代数, 微分方程式
知 能 シ ス テ ム 工 学 科	数学	常微分方程式, 確率統計, 微分積分, 線形代数, 解析学

受験上の留意事項（共通）

- (1)試験場 福井大学工学部 福井市文京3-9-1
- (2)試験当日は必ず受験票を携帯し、8時から8時30分の間に総合研究棟I 1階 総合大1講義室（裏表紙の建物配置図を参照）に集合してください。
なお、受験者の人数により、集合時間が変わる場合には、別途お知らせします。
- (3)試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り受験を認めます。
- (4)本学が課す編入学試験を一部でも受験しなかった場合には、失格となります。
- (5)試験当日等に、駅や試験場周辺で合否電話等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係ないので十分注意してください。

過去の入試問題の請求方法について

- (1)来学される場合
文京キャンパス学務部入試課（アドミッションセンター2階）において配布します。
ただし、土・日・祝日を除き、9時から17時までとします。
- (2)郵送を希望される場合
本学学務部入試課へ電子メールまたはFAXにより申し込んでください。
申込に際しては、件名に「〇〇入試（〇〇学科）過去問題（または過去問題・募集要項）請求」と明記し、本文に送付先（請求者）の郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いてください。
ゆうメールの着払いで郵送します。
E-mail : g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp
F A X : 0776-27-8010

※過去問題の配布は3年分に限りさせていただきます。（ただし、情報・メディア工学科は平成27～28年度入試の2年分のみとなります。）

※過去問題の解答は非公表となっています。

Ⅷ 合格者発表

推薦入試（1. 学校推薦 及び 2. 自己推薦）

平成28年5月27日（金）10時

一般入試 平成28年7月22日（金）10時

本学入試課掲示場（裏表紙の建物配置図参照）及び本学ホームページ（<http://www.u-fukui.ac.jp>）に合格者受験番号を発表するとともに、合格者あてに合格通知書を送付します。また、推薦入試（学校推薦）の場合は、同日付けで出身学校長にも選考結果を通知します。

なお、電話やメール等による照会には一切応じません。

Ⅸ 入学手続等

一般入試 合格者には、合格通知書とともに「**入学意思確認書**」を送付しますので、**平成28年8月3日(水)までに必ず提出**してください。これを提出しない者は、本学に入学する意思がないものとして取り扱います。

一般入試 合格者で「入学意思確認書」により入学を確約した者及び**推薦入試** 合格者に対し、入学手続きに必要な書類を平成28年11月上旬に改めて送付します。

X 障害のある入学志願者等の事前相談

本学部への編入学志願者で、疾病・負傷や身体障害のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、出願前にあらかじめ本学入試課（電話0776-27-9927）に申し出てください。

申し出に基づき申請が必要となった場合は次によります。

1. 相談申請の期限

推薦入試 平成28年4月11日(月)まで

一般入試 平成28年6月6日(月)まで

2. 相談申請の方法

出願前相談申請書に診断書等必要書類を添付して提出するものとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

XI 個人情報情報の利用

出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金等の制度の運用、③入学者の受入準備、④入試の改善や志願動向等の調査に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合及び本人の同意を得た場合のほかは、次に掲げる場合を除き、原則として、他の目的で利用又は福井大学の教職員以外に提供することはありません。

- 1) 捜査機関が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供する場合
- 2) 提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合（なお、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すこととなります。）
- 3) 提出された出願書類等の個人情報を、当該本人の権利利益を不当に侵害するおそれがない場合に、学術研究の目的のために提供する場合

【問い合わせ先】 福井大学学務部入試課

XII 入学志願者のための案内

1. 工学部概要

国立大学法人福井大学工学部は8学科からなり工学分野のほぼ全ての領域をカバーする充実した教育体制をもって全国各地から入学志願者を集めています。学部学生定員は正規入学定員525名に3年次編入入学定員40名を加えると565名となる大規模な工学部です。平成17年度に創成教育の充実を図り、地域と連携した“ものづくり教育”をめざし、「先端科学技術育成センター」を設置しています。さらに、大学院工学研究科においては、8学科に直接接続する8専攻に、ファイバーアメリティ工学専攻と原子力・エネルギー安全工学専攻の2独立専攻を加えた博士前期課程10専攻、及び一般専攻の2専攻に2独立専攻を加えた博士後期課程4専攻となりました。平成25年度からは、実践性、学際性を備えた高度専門技術者に対する社会のニーズに応えるため、ファイバーアメリティ工学専攻を繊維先端工学専攻に、博士後期課程4専攻を総合創成工学専攻の1専攻に改組を行い、科学技術教育研究の最先端学府としての役割を名実ともにはたしています。学内には遠赤外領域開発研究センターなどの国際的研究拠点となる教育研究施設やネットワーク・システムが整備されており、将来の起業家育成を目的としたベンチャー・ビジネス・ラボラトリも活動しています。

(1) 学科及び分野

学 科	分 野
機 械 工 学 科	機能創成工学, 熱流体システム, システム制御工学
電 気 ・ 電 子 工 学 科	電子物性, エネルギー工学, システム工学
情 報 ・ メ デ ィ ア 工 学 科	情報・メディア工学
建 築 建 設 工 学 科	環境構造工学, 都市建築設計
材 料 開 発 工 学 科	エネルギー・物質変換化学, インテリジェント材料, 生産加工プロセス
生 物 応 用 化 学 科	生物応用化学
物 理 工 学 科	数理・量子科学, 物性・電磁物理, 分子科学
知能システム工学科	知能創成, 未来システム創造

(2) 学位及び教員免許状

工学部の卒業者は学士（工学）の学位が授与されます。

また、所定の単位を修得すれば、教員免許状を取得することができますが、教員免許状の取得を希望している場合は、出願前に必ず学務部教務課（電話：0776-27-8027）までご相談ください。

(3) 大学院

学部卒業後更に専門分野について研究しようとする者のために、大学院工学研究科が設けられています。大学院工学研究科には、標準修業年限2年の博士前期課程と標準修業年限3年の博士後期課程があります。

2. 入学時の諸経費

(1) 入学料・授業料

種 別	金 額	備 考
入 学 料	282,000円（予定額）	入学時 1 回限り（入学手続き時に納入）
授 業 料	年額 535,800円 （予定額）	年 2 回（前期 4 月，後期 10 月）に分けて納入してください。入学手続き時に前期分 267,900円を納入することもできます。また，申し出により前期分を納入の際に後期分（前期分と同額）も一括して納入することができます。なお，在学中に授業料改定が行われた場合は，改定時から新授業料が適用されます。

① 入学料免除及び徴収猶予

入学前 1 年以内において，本人の学資を主として負担している者（学資負担者）が死亡若しくは失職（定年退職，自己都合退職を除く）した者，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，入学料の納付が著しく困難であると認められる者に対しては，申請により選考の上でその全額又は半額を免除することがあります。

また，経済的理由により入学料の納付が困難であり，かつ学業優秀と認められる者に対しては，申請により選考の上，入学料の徴収を猶予することがあります。

② 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者，又は入学前 1 年以内において，本人の学資を主として負担している者（学資負担者）が死亡若しくは失職（定年退職，自己都合退職を除く）した者，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより授業料の納付が著しく困難であると認められる者に対しては，申請により選考の上でその全額又は半額を免除することがあります。

(2) その他必要な経費

傷害保険及び賠償責任保険

本学では，教育研究活動中の事故を補償するために，入学時に学生全員が何らかの障害保険及び賠償責任保険に加入することを原則としています。

下記は，大多数の国公私立大学が日本国際教育支援協会の賛助会員となり，低廉な保険料で学生に提供している保険です。

学生教育研究災害傷害保険（通学特約付）	保険料 2 年間分	1,400円（予定額）
学研災付帯賠償責任保険	保険料 2 年間分	680円（予定額）

3. 学生生活

(1) 奨学金制度

大学・大学院に在学する学生で，人物・学業ともに優秀かつ健康であり，経済的理由により修学が困難と認められる者に対しては，独立行政法人日本学生支援機構や都道府県・市町村等の地方公共団体，公益法人等及び福井大学独自の奨学制度があります。

○独立行政法人 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金は、貸与制の奨学金です。この奨学金は、大学卒業又は退学後は必ず返還しなければなりません。また、この奨学金は申込資格要件を満たすことができないとき、申請できない場合がありますので、詳しくは本学の奨学金窓口にお問い合わせください。

種類及び貸与月額

〈学部学生〉

奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	自宅通学者 45,000円 自宅外通学者 51,000円, 又は、30,000円の何れかを選択	無利子
第二種奨学金	希望する月額を次の中から選択 30,000円, 50,000円, 80,000円, 100,000円, 120,000円	有利子（在学期間中は無利子） 利率は固定型、又は見直し型より選択

○都道府県・公益法人等の奨学金

これらの奨学金については、奨学生の募集がある場合に学内掲示板で案内しますので、申請を希望する学生は、本学の奨学金窓口にお問い合わせください。

※奨学金制度等を利用する際に、入学試験の成績や出身学校長から提出された調査書を必要とする場合には、各奨学団体等へこれらの情報を提示する場合があります。

○福井大学独自奨学金

◆福井大学学生修学支援奨学金

授業料免除申請者（留学生を除く）で、審査の結果半額免除となった学生のうち、経済的に困窮度の高い順に選定し、10万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。（対象者に、大学院学生を含む）

◆福井大学生協奨学金

福井大学生協生活協同組合からの寄附金による奨学金です。授業料免除申請者（留学生を除く）で、審査の結果半額免除となった学生のうち、経済的に困窮度の高い順に選定し、10万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

(2) 課外活動

正規の教育課程のほかに、学生が豊かな情操を養い、体力を鍛え、将来社会において役立つ経験を積むため、教育の一環としてクラブ活動を認め、かつ、奨励しています。

(3) 健康診断

健康管理のため、文京キャンパスに保健管理センターがあり、健康について医師等の診断や相談を受けることができます。

また、学生の定期健康診断は、春期に行っています。

(4) 相談窓口

履修，生活，就職，人間関係など学生生活の中でのいろいろな問題について，相談に応ずる体制が整っています。

(5) 学生宿舎

本学には，次のような学生宿舎があります（外国人留学生との混在で，男女は階別）。

11月上旬に大学ホームページに入居者募集要項を掲載しますので，入居希望者は内容をよく確認し，入居申請準備をしてください。

名 称	定員	新入生入居 募集人員	構 造	室定員	寄宿料	光熱水料等	所 在 地
国際交流学生宿舎	209人	約30人	鉄筋コンクリート 5階建…1棟 4階建…2棟	1人	月額 4,700円	月額 約10,000円	〒910-0017 福井市文京5-13-10 (文京キャンパス から徒歩約8分)

(6) その他

よりよい学生生活のために食堂，売店，書店などの福利厚生施設があります。また，遠隔地の学生のために下宿・アパート等の紹介をしています。

詳細は，福井大学生生活協同組合（電話 0776-21-2956）にお問い合わせください。


4. 平成28年度 工学部3年次編入学試験入学者状況

学 科	募集人員			志願者数			受験者数			合格者数			入学者数		
	学校 推薦	自己 推薦	一般	学校 推薦	自己 推薦	一般	学校 推薦	自己 推薦	一般	学校 推薦	自己 推薦	一般	学校 推薦	自己 推薦	一般
機 械 工 学 科	5	若干名	4	4	1	17	4	1	15	3	1	8	3	1	6
電気・電子工学科	5	若干名	4	1	0	24	1	0	21	1	0	13	1	0	10
情報・メディア工学科	5	若干名	5	1	2	27	1	2	26	1	1	12	1	1	9
建築建設工学科	3	若干名	7	5	0	21	5	0	17	3	0	9	3	0	6
材料開発工学科	若干名	若干名	若干名	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3
生物応用化学科	若干名	若干名	若干名	0	0	3	0	0	2	0	0	1	0	0	1
物 理 工 学 科	若干名	若干名	若干名	0	1	2	0	1	2	0	1	1	0	1	1
知能システム工学科	若干名	若干名	2	0	1	7	0	1	7	0	1	2	0	1	1
計	18		22	11	5	104	11	5	93	8	4	49	8	4	37

XIII 学生募集要項等の請求方法

1. テレメールによる請求方法

(1) 福井大学ホームページ（パソコン）からの請求方法

本学ホームページ（<http://www.u-fukui.ac.jp/>）「受験生の方へ」内の「入試資料の請求方法」から  テレメールにアクセスしてください。

※本学ホームページ内の「受験生の方へ」では大学の概要や入試情報等も紹介しています。

(2) テレメールホームページ（パソコン・携帯電話・スマートフォン）または自動音声応答電話による請求方法


①下記のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネット （パソコン・携帯電話・スマートフォン）	http://telemail.jp	 携帯電話・スマートフォンなら、QRコードを読み取るだけでアクセスできます。
自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 （24時間受付） ※一般電話回線からの通話料金は、日本全国どこからでも3分毎に約11円です。 ※住所・氏名等の登録時は、ゆっくり・はっきりと話してください。 登録された音声不鮮明な場合は、電話で住所・名前を確認することがありますので、電話番号は必ず登録してください。	

②請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号
工学部第3年次編入学募集要項	583292
大学案内	563252

③ガイダンスに従って申し込んでください。

- ・請求してから2～3日後に資料が届きます。
受付時間や地域、配達事情によっては、到着までに4日以上かかる場合もあります。
- ・送料は資料に同封されている支払方法に従い、表示料金を支払ってください。
（支払いに際して手数料が別途必要になります。）
- ・  テレメールでの請求についての問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター TEL 050-8601-0102（9:30～18:00）

2. 大学への請求方法（できるだけ テレメールで請求してください。）

「工学部第3年次編入学学生募集要項請求」と明記し、送付先（請求者）の郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて、本学学務部入試課へメールまたはFAXにより申し込んでください。
「ゆうメール」の着払いで送付します。

E-mail：g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

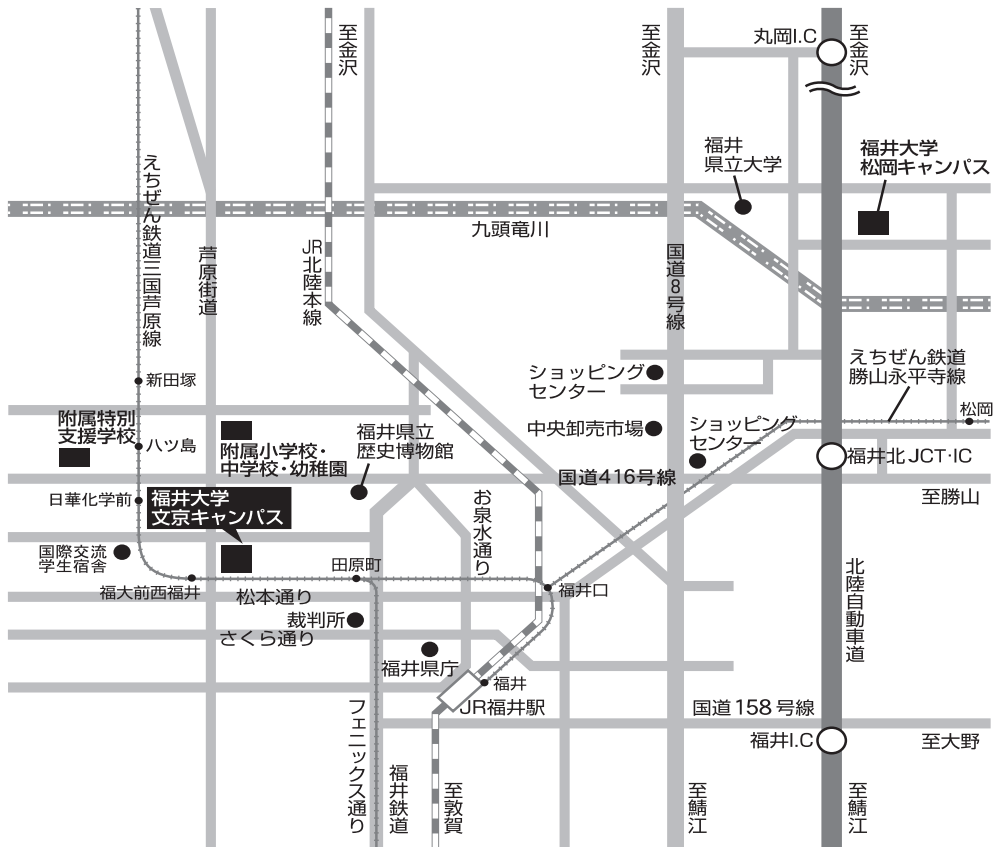
FAX：0776-27-8010

3. 窓口での請求方法

本学窓口で配付します。（祝日を除く月～金曜日の9:00～17:00）

文京キャンパス：福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課

福井大学文京キャンパス位置図



文京キャンパスへの経路

- バス J R 福井駅-(約10分)-福井大学前下車
[J R 福井駅西口から出て市内バス乗り場から]
<http://bus.keifuku.co.jp/>
- 鉄道 えちぜん鉄道福井駅-福大前西福井駅下車
[J R 福井駅東口から出て三国芦原線で約10分]
*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
<http://www.echizen-tetudo.co.jp/>
- タクシー J R 福井駅-(約10分)-福井大学文京下車
[必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから国道416号線で西へ約7km
福井ICから国道158号線で西へ約8km

交通機関(時刻表等)

J R 西日本	http://www.jr-odekake.net/
京福バス	http://bus.keifuku.co.jp/
えちぜん鉄道	http://www.echizen-tetudo.co.jp/

福井へのアクセス

大阪・京都方面から

- JRで 大阪・京都-湖西線経由-福井
(特急で、京都から約1時間30分、大阪から約2時間)
- 自動車で 大阪・京都-<名神>-米原JCT-<北陸>-福井・福井北JCT・IC
(京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
- 高速バスで 大阪・京都-<名神・北陸>-福井
(京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

名古屋・静岡方面から

- JRで 名古屋・静岡-米原経由-福井
(名古屋から新幹線・特急で約1時間40分、特急で約2時間)
- 自動車で 名古屋-<名神>-米原JCT-<北陸>-福井・福井北JCT・IC (約2時間)
- 高速バスで 名古屋-<名神・北陸>-福井(約2時間50分)

東京方面から

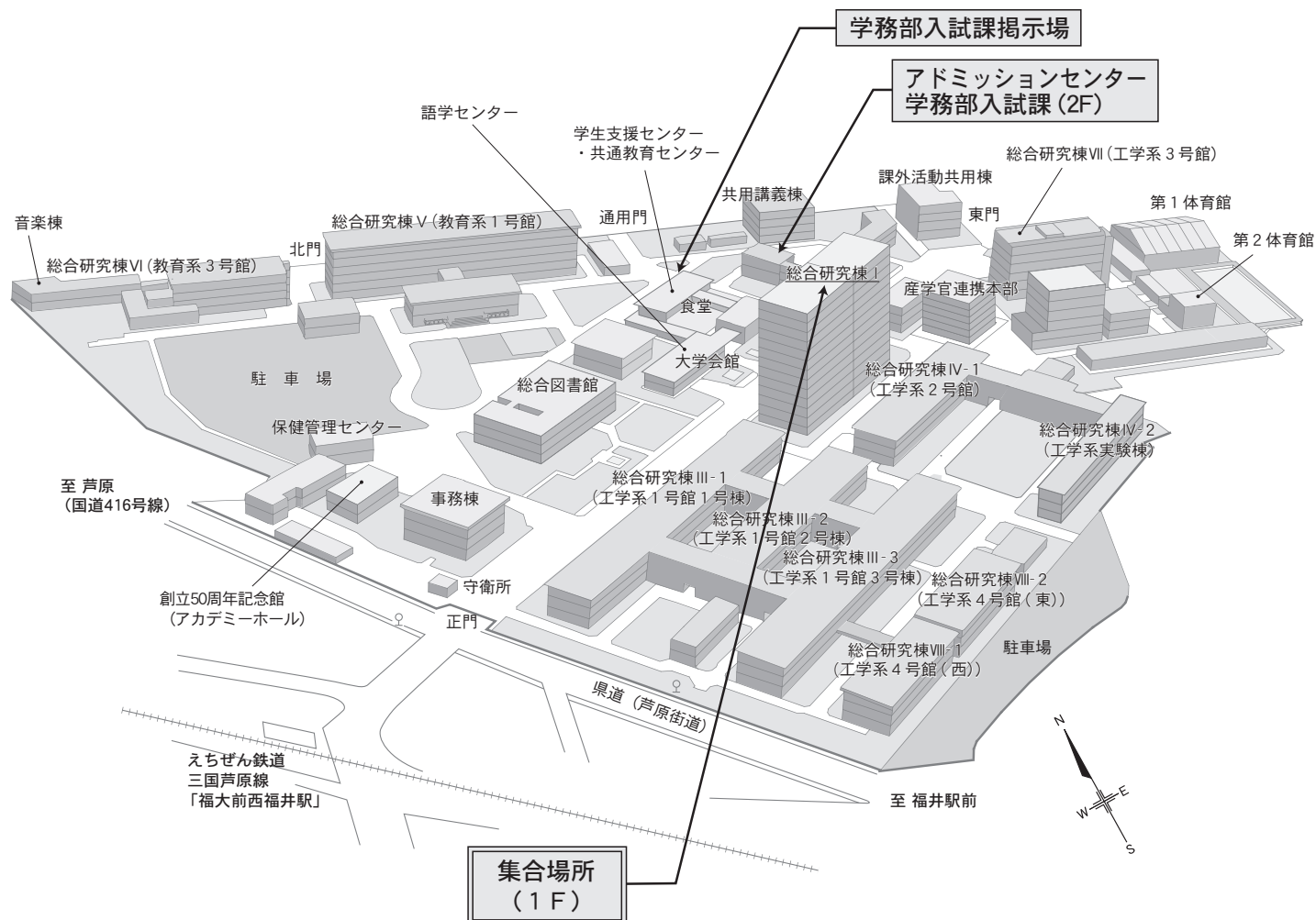
- 飛行機で 東京羽田-小松空港(1時間)-福井(連絡バス1時間)
- JRで 東京-米原経由-福井(新幹線・特急3時間30分)
- 自動車で 東京-<東名・名神>-米原JCT-<北陸>-福井・福井北JCT・IC
(約6時間30分)
※高速バスもあります。

金沢・新潟方面から

- JRで 金沢・新潟-福井(金沢から特急で約40分)
- 自動車で 金沢-<北陸>-丸岡・福井IC (約1時間)



福井大学建物配置図 (文京キャンパス)



《受験に関する問い合わせ先》

福井大学学務部入試課

〒910-8507 福井市文京3-9-1

TEL 0776-27-9927

<注意>

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・この学生募集要項以外に重要な通知がある場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。
[福井大学ホームページ <http://www.u-fukui.ac.jp/>]
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、学生募集要項を手元に置き、必ず志願者本人が行ってください。